

# R4年度 とよたシニアアカデミー通年コース 文化工芸学科 \* \* \* 7月の講座紹介 \* \* \*

## 7月8日(金)、27日(水)、28日(木) 選択「陶芸」

＜穴窯を使った陶芸の手順＞  
成形⇒乾燥⇒素焼き⇒施釉⇒窯詰め⇒窯焚き⇒窯出し  
※今月は、窯焚き見学まで行いました。



紐作りの手法で、成形します。



講師：名越健二 氏



講師の手先をよく見て！

### 学生の感想（抜粋）

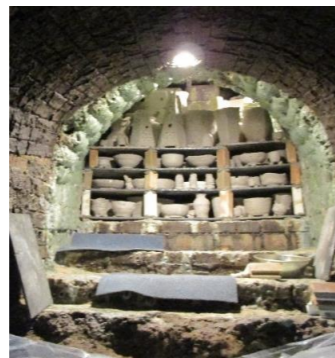
- ・釉薬の種類やかけ方、窯の中の置く位置などで器の表情が変わるのを愛でる、これが日本の文化らしいと思った。
- ・昔ながらの手法で丹精込めて行う窯焚き作業に感動しました。煙の匂いに故郷を思い出しました。
- ・窯に火が入ると迫力がある。親切な指導に感謝です。



花瓶や皿など自分の作りたいものにチャレンジ！ 素焼きの終わった作品の数々 釉薬がけは、とても緊張した～



学芸員の解説付きで本多記念館を見学



穴窯に作品を詰めて、窯焚きの様子を見学しました。



## 7月6、20日(水)俳句を楽しむ

7月は、「俳句」と選択コースの中から「陶芸」講座を紹介します。一年を通じて色々なジャンルから幅広く学びますが、これ良いな！と思うテーマに出会えたら、一步踏み出すのはあなた自身！期待しています。



講師：山村 博保 氏



アドリブの効いたはじめの挨拶



自作の俳句を発表します

### 学生の作品、一部紹介します

夏の川 竿握りたる 幼き日	夏帽子 助けてくれ と肌が すみう 子	風鈴の音の きこえる 風の道	向日葵や 汗かく我と 立ち向 誠か 二う	夏の川 珠を見守る ボチの影
絹代		サヨ子		邦夫

### 学生の感想（抜粋）

- ・言葉遊びは頭を活性化させ、楽しい。
- ・有名な俳句の意味を知り、情景が頭に浮かんで来て心にしみ入った。俳句は日本らしいと感じた。少ない言葉と作者、読者の創造力と想像力で静かに心の中で組み上げて行く作業だから。
- ・俳句を学んだことで日常の出来事や自然に目を向けるという意識が生まれました。これから楽しくなりそうです。日本の四季の素晴らしさ、日本人の心の豊かさを感じました。



先生、教えてください～！



仲間の作った俳句の良かった点を発表しあいます。